

平和 特集号

たいとう

東京土建一般労働組合
台東支部
〒110-0012 台東区竜泉1-15-2
Tel:03-3876-1966 Fax:03-3875-5965
Mail:taitou@tokyo-doken.or.jp
HP:http://doken-taito.jp
編集 遠藤 顕寛



六本木ヒルズの真横を飛ぶ米軍ヘリコプター

東京のど真ん中にある 米軍基地

日本国内には今、アメリカ合衆国の基地が何か所あるでしょうか。港区六本木に米軍基地があるのはご存知ですか。

先の大戦の終戦から76年が過ぎた今でも、アメリカ軍は日本に駐留を続けています。アメリカ本土から横田基地経由で六本木の米軍基地に出入りする要人・軍人は、パスポートチェックや税関検査を経ずに日本に入国しています。これらの事実をふまえて、現在の日本とアメリカの関係を考察します。

7月21日けんせつプラザで開かれた講演「麻布ヘリ基地と米軍低空飛行訓練問題」に参加しました。日本国内には米軍基地が130ヶ所あるといわれます。そのうちのひとつに、港区六本木7丁目に米軍のヘリ基地があります。市販の地図によれば「赤坂プレスセンター」「六本木ヘリポート」と記されています。最近ようやく「六本木在日米軍」と記載されるようになったそうです。わたしがこの基地のことを知ったのは10年以上前に六本木ヒルズの工事に携わったときでした。42階にいた私の目の前をヘリが横切っていたのです。生まれて初めて飛行中のヘリコプターを真

横から見ました。その一瞬何が起きたのか、啞然としたことを憶えています。それも明らかに、軍用のヘリとわかりました。その数年後に同じく六本木にある「政策研究大学院大学」の工事に行ったとき目の前にヘリポートがあり、一日中発着を繰り返していました。このヘリ基地の使用目的は、横田基地にきたアメリカの要人がヘリで麻布やアメリカ大使館にいくのだそうです。詳しい行動、移動次第はわかりません。

今夏は東京オリンピックとコロナ関連のふたつの話題が日本中のメディアを席巻しました。一方で平和・戦争関連に関する報道やテレビの特集番組は減りました。広島島の原爆投下に関する番組が今年の8月6日にNHKで放送されることはありませんでした。第2次世界大戦の終戦から76年が経ち、戦争や平和に対する私たちの意識が希薄になつてもいいです。東京オリンピックの開会までもない7月29日東京土建本部主催のオンライン「平和学習会」に、支部から5人が参加しました。基調講演では元東京新聞論説委員の半田滋さんが「敵基地攻撃と日米一体化の踏み越える専守防衛」と題して、1時間に



学習会に参加の組合員の皆さん



講師の半田さん

オンラインによる 平和学習会

わたり現在の日本を取り巻く防衛政策について論じました。台湾をめぐる米中対立により緊張感の高まる南シナ海に、海上自衛隊は護衛艦や潜水艦を恒常的に

派遣しています。中国を挑発している行為とも受け取られるかねません。米国は中国に対するけん制として在日米軍基地へ中距離弾道ミサイルの配備を進めることは確実と半田さんは言います。そうならば台湾に近い沖縄本島への配置が最有力とみられます。米国と中国による台湾有事がひとたび起こったならば、沖縄をはじめ各地に米軍基地がある日本は無関係ではいられません。外交による回避のみをさぐるのが政府に求められます。戦争ができる国づくりに反対し、世論形成のための宣伝行動や署名活動への取り組みがますます重要になってきます。

五重塔
日本ではじめてコカ・コーラを詩にうたった高村光太郎
世界中で飲まれているコカ・コーラが、日本に入ってきたのは大正9年。
同年9月1日から明治屋と満平薬局(麹町)で発売。匂いが薬くさいと、一般にはほとんど受け入れられなかった。日本人が本格的に飲み始めるのは戦後のこと。
ところで、コカ・コーラが日本に上陸する以前に、それを詩にうたっている詩人がいた。高村光太郎である。明治末から大正にかけて書かれた「狂者の詩」という詩篇があり、その中に「コカ・コーラ」「コカ・コーラもう一杯」という詩句が見受けられる。
光太郎は明治39年にアメリカに渡り、イギリス・フランス(パリ)、イタリアなどを旅行し3年後に帰国しているが、多分その時ニューヨークのどこかでコカ・コーラを飲んだのだろう。ちなみにこの詩が活字で残っている、「コカ・コーラ」の日本での最初の文献だそうである。

夏の平和特集テレビ番組を視聴して

『封印された心の傷 「戦争神経症」兵士の追跡調査 NHKスペシャル』

先の大戦中、存在すら隠された精神症の日本兵たち、彼らはその後どう生きたのか。戦後密かに行われていた追跡調査が初めて開示された。

調査をしたのは目黒克己医師（当時30才）。元兵士たちの症状や暮らしの追跡から見えてきたのは、病に苦しみ続け孤独に生きる者、困窮に喘ぐ者など壮絶な戦後だった。番組では元兵士の遺族らを独自に取材。戦場の狂気

『平和についていま思っている』

今年も終戦の日を迎えました。この時期になるとマスコミでも戦争のことを報道し、テレビ等でも流れてくると改めて平和について考えさせられます。争いの発端は利害関係や宗教の違いなど様々な原因があると思いませんか。命の奪い合いや建物の破壊で満足が得られる社会ができてしまったのでしょうか。勝つても負けても甚大な被害がでます。戦争は殺戮と破壊の何ものでもありません。

インボイス制度は中止しかない

8月1日台東支部会館にて四役常任研修が開催されました。例年は1日開催のところ、今般のコロナウイルス感染症の影響で午前中の学習会のみとなりました。

2021年10月1日から登録申請が始まる「適格請求書等保存方式（インボイス制度）」に関して、東京土建本部から山本書記を講師に迎え、消費税の基礎の消費税率の引き上げ問題の点や制度廃止の問題点や私たちが組合運動の

内容、また、施行時の備えを学びました。参加した役員からは「現時点で課税業者であればインボイス登録ナンバーが割り当てされるのか」「現場で急に外注を頼んだ場合はどうなるのか」等、実際に想定した質問があり、関心の高さがうかがえました。



挨拶する本部役員齋藤さん

【秋の住宅デーお知らせ】

10月3日(日) 10:00~13:00

支部会館隣り「朝日弁財天公園」にて住宅デーを開催します

《 工作教室や包丁研ぎを予定 》

※コロナ感染防止対策に留意しますが、延期・中止になることもあります

分会名	目標	成果	達成率
清川	9	0	0%
浅草中央	5	0	0%
下谷	3	0	0%
谷中	3	0	0%
松が谷	6	0	0%
上野浅草橋	5	0	0%
直属・事業所	23	0	0%
合計	54	0	0%
青年部	4	0	0%
ライトシルバー	10	0	0%
女性の会	4	0	0%

ました。戦後、中国大陸に取り残された子供が食べるものもなく、それでも生き延びられた。そこには暖かい手を差し伸べてくれた人がいたからだと思います。本来人間はやさしい気持ちをもっているものです。わたしたちは戦後生まれでわかりませんが、日本も終戦当時はこのような惨状だったのでしょうか。戦争をして二度と戦争をしてはいけません。今です。今です。

も世界のどこかで争いがおきています。対岸の火事とは思わずに、収束に向けて各国が努力すべきです。日本のように宗教も言論も自由な国

は素晴らしいのではないのでしょうか。平和憲法を守り平穏な社会が続くように願うばかりです。

上野浅草橋分会 福田俊昭

『仲間を増やす』秋の組織拡大月間がスタートしました。10月末までの取り組みで目標は54人以上となります。

8月29日に支部会館で「秋の活動者会議」を開催しました。東京労働者学習協会の江口さんの講演では、コロナ禍でも取り組める

秋の拡大統一行動日

第1次行動日 9月15日・16日

第2次行動日 9月21日・22日

第3次行動日 9月29日・30日

第4次行動日 10月3日 「住宅デー」

第5次行動日 10月13日・14日

第6次行動日 10月20日・21日

第7次行動日 10月27日・28日

国保料減免、感染症手当金、組合総合共済の傷病見舞金、月次支援助金・・・それ以外にも対話のネタは多くあります。

国保料減免、感染症手当金、組合総合共済の傷病見舞金、月次支援助金・・・それ以外にも対話のネタは多くあります。

朝鮮戦争、ベトナム戦争でも然り。人間の心を壊す、理由の如何を問わず戦争の怖さがそこにある。

松が谷分会 遠藤 顕寛

『NHK B S 1 スペシャル果てなき殲滅戦〜日本本土上陸作戦に迫る〜』を視聴して

今まで不思議に思っていた米軍の行動が理解できました。よく戦争体験者の証言で子供のころ米軍機から機銃掃射を受けた友達を亡くしたと聞きます。今年の終戦特集のラジオでも聞きました。パイロットの顔が見えたと聞きます。パイロットからも子供だと言ったはず、なのにどうして機銃掃射を

私の疑問は解消しましたが、日本本土上陸作戦が幻に終わる本当に良かったと思います。

松が谷分会 寺山 邦裕

ナ禍においては世界的な社会情勢と、日本における労働運動について論じていただきました。今こそ労働組合の出番であること、とりわけ東京土建の地域においての役割は重要と云います。江口さんの話で、私たちは秋の拡大行動に取り組んでいく必要性を改めて認識しました。

は左記のとおりとなります。更なる上乗せを目指しましょう。コロナ禍でも出来ることは数多くあります。訪問行動時に、困っている組合員の声を積極的に聞き取ってください。

ります。感染対策に充分留意した上でまずは仲間を助けるための行動をしましょう。その先に目標達成が見えてきます。

『コロナ禍でも取り組める』



労働者学習協会の江口さん